

タイトル	感謝をこめて、大事にしよう！
ポーランド語のタイトル	Wdzięczność dla codzienności
テーマ *	c
名前	マグダレナ モデストヴィッチ
ポーランド語の名前	Magdalena Modestowicz
学校名 * 2	ワルシャワ大学
学年	4年生
日本滞在歴	なし

*a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

皆さん、もし皆さんの彼氏が毎晩素敵なレストランで高い指輪をくれたら、それは当たり前のことになってしまいますよね。あるいは、親友でも毎日会っていると、彼女の長過ぎる前髪が鼻に付いてきませんか？では、逆の場合はどうでしょう。もし、「大嫌い！」と文句を言いながら毎日通っていた学校を卒業した途端、寂しく感じたりすることはないでしょうか。

私は子供の頃からペットが欲しかったのですが、両親はダメだと言いました。でも十年前、希望を失う一歩手前で、学校から帰る途中で捨て猫を見つけて一目惚れし、家に連れて帰りました。

ところが、可愛い子猫はあっという間に化け猫に変わりました。百年前のお祖父さんの代から使っている大切な肘掛け椅子は、猫の爪研ぎ専用になりました。その上、猫の好きな遊びは一番高い棚から家族の頭の上に飛び下りることでした。また、化け猫が階段を上る母のところ突然走って行き、驚いた母は階段から落ちて、足の骨を折ってしまいました。皆はだんだんこの猫が嫌いになって、拾ったことを後悔するようになりました。

そして六年後、猫は犬に噛まれて死んでしまいました。これは私の人生で一番悲しい出来事でした。毎日声を限りに叫び、子供のように泣きじゃくりました。お店に入れば、猫の好きだったミルクが目に入り、アルバムを開けば、すべての写真が猫に見えました。どこへ行っても猫の思い出が浮かび、頭の上にとびおりにくる化け猫が愛しくて愛しくてたまらない気持ちになりました。

その時私は、大切なことに気が付きました。それは、この世界には永遠にとどまるものなどない、ということです。好きな人もかわいいペットも、いずれはなくなります。猫の文句ばかり言っていた私は、どうして生きているうちにもっと一緒に楽しまなかつたんだろうと後悔しましたが、もう手遅れでした。

人は、大切なものを失って、初めてその価値に気がつくものです。毎日ご飯を作ってくれる両親、ペンを貸してくれる友達、明るく挨拶をしてくれるお隣さんの大切さに気づくことはありません。私も猫が生きている間は、頭にきてばかりでしたが、今思い出すと、とても懐かしい気持ちになります。

詩人のヤン・トファルドフスキは「急いで他人を大事にしよう。彼らは今、離れるところだ」と書きました。これは、手遅れになる前に、日常を楽しみ、そばにいる人々に感謝すべきだという意味です。これより意味深い言葉はありません。皆さん、人生は短いだから、恨みや憎しみを抱いている暇はありません。大好きなものに感謝して、大切にしてください。

Podsumowanie(60-70 słów)

Nasze życie składa się w głównej mierze z codzienności. Dlatego nie doceniamy zwykłych, szarych dni oraz ludzi, którzy otaczają nas każdego dnia. Jednakże strata bliskiej osoby odsłania inną prawdę o nas samych. Zaczynamy tęsknić za utraconym czasem, chwilami spędzonymi z kimś, kogo już nie ma, za czymś, co już nie ma szans się powtórzyć. Starajmy się więc cieszyć z każdego dnia, dostrzegajmy wartość każdej chwili, nawet, jeśli nie jest nadzwyczajna.

